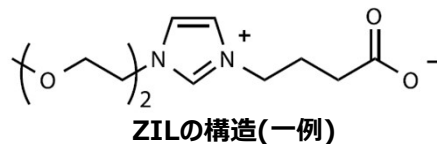


双性イオン化合物を用いた細胞の凍結保存

発明のポイント

- 双性イオン液体(Zwitterionic Luquid) : 既存の溶媒やDMSOと比較して細胞毒性の低い溶媒
- 動物由来物質不含で細胞凍結保存液として利用可能
- 化学合成で大量に製造可能



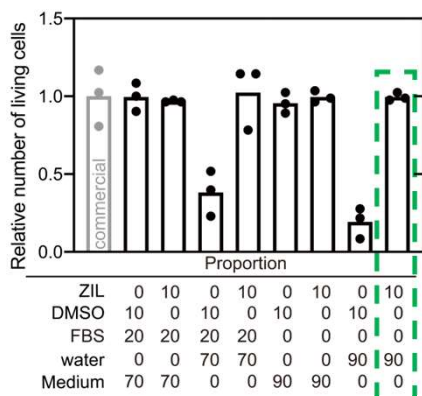
ゼブラフィッシュの受精卵 :
 5%DMSO水溶液で培養⇒毒性により不完全な発生
 5%ZIL水溶液で培養 ⇒正常に発生

従来技術との比較・優位性

【モノマータイプの双性イオン化合物】

従来技術との比較

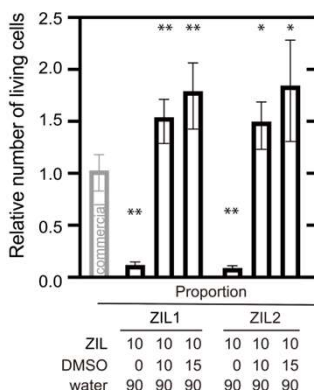
Human Normal Fibroblast



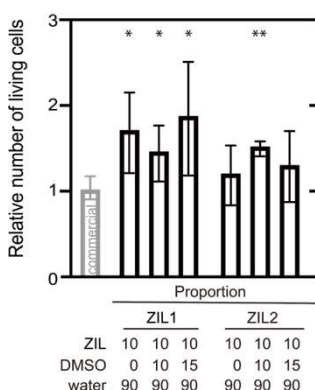
ZIL(OE₂imC₃C)と水のみ水溶液
 ⇒市販品(FBS含有)と遜色ない凍結保存効果

細胞凍結に弱い細胞の凍結保存

K562



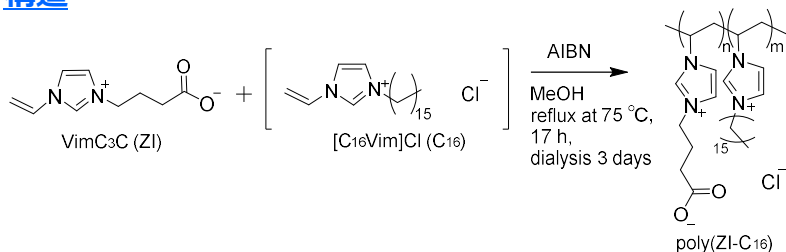
OVMANA



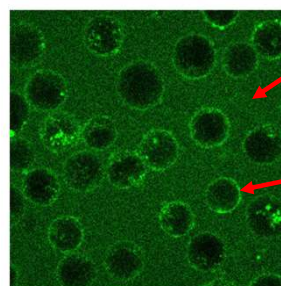
ZILとDMSOの併用
 ⇒従来、凍結が困難であった細胞も凍結保存可能に

【ポリマータイプの双性イオン化合物】

構造



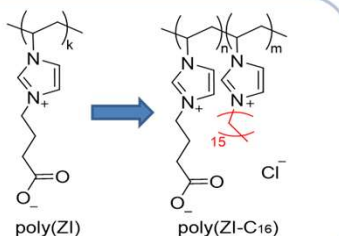
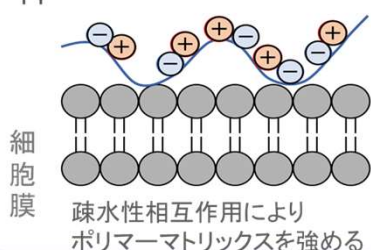
効果



細胞間でマトリクスを形成

細胞膜上に蓄積

Approach



細胞外でマトリクスを形成し、細胞内への氷晶の流入を防ぐ
 ⇒細胞を守ることに伴う凍結保存効果の向上
 かつ
 細胞浸透性物質の混合割合低下にともなう毒性の低減

想定される用途

◎ 卵細胞、がん細胞、iPS細胞等の凍結保存液、凍結保存培地

代表発明者 :

黒田 浩介(金沢大学・准教授)

関連する特許

発明の名称 :

非プロトン性双性イオンを用いた未分化促進剤及び凍結保護

共同発明者 :

平田 英周(金沢大学・准教授)

国際公開番号 :

WO2020230721

連絡先 :

JST知的財産マネジメント推進部 ライセンス担当

電話) 03-5214-8486

メール) license@jst.go.jp

URL) www.jst.go.jp/chizai/

